

科目名	日本語文化 Japanese Language and Culture	科目コード	A0130
-----	--	-------	-------

学科名・学年	全専攻・1年（プログラム3年）
担当教員	山下多恵子（一般教育科）
区分・単位数	選択・2単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義30】
教科書	新潮文庫『一握の砂・悲しき玩具—石川啄木歌集』
補助教材	担当者によるプリント
参考書	国語辞典等

### 【A. 科目の概要と関連性】

授業では近代文芸作品を詳しく読解・鑑賞し、近代以降の日本文芸全般に対する理解を深める。受講者の主体的な読解・鑑賞によって、人文学的な教養を深化させるとともに、口頭発表・レポート作成を通して、自らの考えを明快かつ論理的に発信する力を養成する。

○関連する科目：国語・文学Ⅰ・文学ⅡA・同B（いずれも準学士課程配当科目）

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 論理的な文章作成の能力と明快な口頭発表の能力を身につける。	40%	(B1)
② 近代文芸作品の深遠な描写の特質を理解する。	30%	(A1)
③ 近代文芸作品の文芸構造の特色を理解する。	30%	(A1)

### 【C. 履修上の注意】

受講者による口頭発表を行う。取り扱う作品は、石川啄木の短歌作品等である。テキストは、初回授業時に教室で配布する。作品は事前に通読し、必要に応じて国語辞典を持参すること。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート（60%）
- その他（40%）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	課題
1	ガイダンス（作品・テキストの確認と、概説）	啄木の生涯と文学（概略）
2	石川啄木『一握の砂』『悲しき玩具』について	歌集の内容や、文学史的な位置づけ等についての理解
3	『一握の砂』講読（1）	作品の主題および表現についての理解と洞察
4	『一握の砂』講読（2）	作品の主題および表現についての理解と洞察
5	『一握の砂』講読（3）	作品の主題および表現についての理解と洞察
6	『一握の砂』講読（4）	作品の主題および表現についての理解と洞察
7	『一握の砂』講読（5）	作品の主題および表現についての理解と洞察
8	『一握の砂』講読（6）	作品の主題および表現についての理解と洞察
9	『一握の砂』講読（7）	作品の主題および表現についての理解と洞察
10	『一握の砂』についてのまとめ	まとめ・レポート提出（1）
11	『悲しき玩具』講読（1）	作品の主題および表現についての理解と洞察
12	『悲しき玩具』講読（2）	作品の主題および表現についての理解と洞察
13	『悲しき玩具』講読（3）	作品の主題および表現についての理解と洞察
14	『悲しき玩具』講読（4）	作品の主題および表現についての理解と洞察
15	『悲しき玩具』についてのまとめ	まとめ・レポート提出（2）